

検討経過と今後の進め方について

<利活用関係>

- 第1回防災WGにおいて、災害リスク情報の利活用方法に関する提案を依頼。
- 第2回防災WGにおいて、頂いた利活用方法を基に設定した、ターゲットとする利活用像(ユースケース)の素案を提示。
- 本日のWGでは、資料1-4において、前回お示ししたユースケースの要件(2頁)の素案に、さらに追加していくべき要件を抽出することを目的として、さらに詳細な要件項目と、必須又はオプションの区分を付した資料を提示。

→今回頂いたご意見を参考として再整理したものを、ターゲットとする利活用像の基本として、今後データ規格、システムの検討に活用する考えですので、そういったことも踏まえて今回の素案に対して各位のご意見をお願いします。

<データ規格関係、災害リスク情報の規格化の本格的な進め方関係>

- データ規格検討に際しての基礎資料として、「既往又は策定中の関連規格類の整理について」と、「データ規格の検討を行うに際しての基礎となるマッピング図(案)(洪水関連)」を第2回WGで提示。これらにより、今後のデータ規格検討の進め方の基本的考え方を提示。
- 本日のWGでは、資料1-3において、平成21年度以降のデータ規格検討の進め方の案を提示

→お示しした検討の進め方について幅広くご意見を頂きたい。
→特に、4頁の来年度の活動体制(案)について意見をお願いします。
→4頁に示した各部会に参加して積極的に活動しても良いと思われる方について自薦・他薦をお願いします(様式を別途メールで送付します)。その際に、検討に参画するに際しての条件等があればそれも教えて下さい。なお、応募者が多い場合には、幹事協議の上で部会への参加をお願いする方を選ばせて頂きます。

<その他>

防災に係る効果的な地理空間情報の利用についての意見があれば何なりとお願いします。

<意見等の送り先と期限>

以上のご依頼に対応した意見の提出と自薦・他薦情報の送付には、以下の事務局宛メールをご利用下さい。**期限は3月27日(金)とします。**

(事務局宛メール: ****@*****)